

事業番号	09 04 19	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特用作物産地づくり推進事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			実施期間	H27 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (ウ) 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	国内産需要が高まっている薬草について、新たな品目として導入を推進し、契約栽培により安定した収入確保を進めるとともに、遊休農地等農地の有効活用を図る。そのために、薬草種苗の生産組織の育成・確保による薬草種苗の安定供給体制の構築や栽培技術の向上のための薬草栽培リーダーの育成、法人や組織的な取り組みの支援による薬草の産地化を推進する。また、実需者とのマッチングを推進し、契約栽培の特徴を活かした中山間地域農業の活性化を図る。
現状(予算編成時)	○国内生薬原料の80%以上は中国からの輸入に依存しており、国内生薬メーカー等は、安定的な国産原料確保を強く望んでいる。また、実需者からは、長野県は気象条件が薬草栽培に適していることから、生産量拡大を要望されている。 ○個人での取り組みが主体であることや、種苗が市販されていないことなどから、生産拡大が進んでいない。 ○薬草は、栽培技術が未確立であり、また、登録農薬が少ないこと、機械化による省力化技術が未確立であることなどから、生産が不安定である。 ○一般農産物と異なり、需要が限定的なことから、引き続き県による生産体制の整備が必要である。

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 国(農水省、厚労省)も生薬の国内生産の拡大に向けた検討を開始しており、また県内の市町村においても中山間地域の活性化を目的とし栽培に関心が高いことから関与が必要。
----------	--------------------------------	---

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	○薬草生産技術等研修会の開催による薬草栽培技術の向上 研修会開催回数:3回(延べ160人) 春期(基本技術の徹底等)、秋(現地ほ場研修等)、冬(座学研修)の3回実施し、栽培技術の習得を図る。 (参加人数は過去の実績から設定。)					
	○薬草種苗や薬草生産組織の育成による産地づくりの推進 薬草種苗もしくは薬草生産に取り組む組織の育成:1組織 (種苗生産に意欲のある1法人の育成を目標として設定)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28(当初)	H28(決算)	H29(当初)
	薬草種苗供給体制の整備	直接	・薬草の種苗供給 ・薬草種苗の安定生産供給体制の構築の検討と薬草種苗生産に意欲ある生産組織育成のための研修会を開催した。(東御市現地ほ場ほか)	554	481	488
	薬草生産技術の確立及び向上	直接	・薬草生産技術研修会を開催した。(3回:小諸市、筑北村、松本市)の開催や実証ほ設置による栽培技術の普及、向上及び機械化等省力化技術のモデル産地の育成による機械化等推進	163	87	163
	生産体制の整備	直接	・本県における薬草生産体制の整備や法人等による組織的な取り組みに対し個別指導を実施した。	196	57	189
			合計	913	625	840

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	921	913	840				目標	成果	達成状況	
		補正予算										
		合計(A)	921	913	840							
	Aの財源	一般財源	204	196	189	研修会の開催	3回	3回(延150人)	3回(延160人)	3回(延162人)	達成	-
		県債				薬草生産等組織の育成	-	1組織	1組織	1組織	達成	1組織
		国庫支出金										
		その他	717	717	651							
	決算額(B)	765	625									
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.10								
	概算人件費(C)	828	791	791								
	概算事業費(B(A)+C)	1,593	1,416	1,631								

目標に対する成果の状況	・3回の研修会や個別の支援により、薬草生産に意欲のある生産組織(農業者で組織する法人)を1組織育成することができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・薬草栽培の定着や拡大のためには、収益性の向上や栽培技術の確立、種苗の安定供給体制及び生産体制の整備・確立が課題であることから、課題解決に向けた検討や研修会を開催するなど引き続き事業を実施する。